

今までの常識は、実は非常識

ベトナム語単語・10倍速暗記法

無料レポート

ベトナム語 WEB 留学

<http://webduhoc.seesaa.net/>

レポートをご覧頂き、ありがとうございます。日本語 & ベトナム語教師、KEN です。

現在、ベトナムはホーチミン市で、語学学校の運営をしています。メインはベトナム人に日本語を教える「日本語教師」ですが、日本人にもベトナム語を教えています。

こう書くと何やら語学の天才のように聞こえてしまうかもしれませんが・・・、私はれっきとした凡才です(笑)。

中学入学時にいきなり英語でつまずき、そこからは何とか這い上がったものの、次は大学の第2外国語だったフランス語でまたつまずき・・・。

初の海外では、“How are you ? ” というあいさつに、とっさに返事ができないという情けない思いをしましたし、バックパッカー時代には、インドの物売りの子に、「オマエ エイゴ ヘタネ」とバカにされる屈辱を味わいました(爆)。

そんな私が、今では人様に語学を教えているのだから、変われば変わる
ものです。

今では日本語・英語・ベトナム語のプチ・トライリンガルになった、もと阿呆。
2 度の挫折(英語 & フランス語)ののちに身につけた単語暗記法を、ここ
であなたにお伝えします。

まず私のベトナム語習得理論ですが、次のような順序こそが、最短最速、
かつ確実であると、今では確信しています。その方法とは……。

ステップ 1: 待つ

ステップ 2: 一気呵成のスタートダッシュ

ステップ 3: 徹底的に聞いて読んで書いていく

詳しい内容は、こちらの無料レポートで説明していますので、ぜひ見てみてください。

<http://www.muryouform.com/rep.php?id=1397&seq=0>

これから、上記レポートでのステップ 2 にあたる、「ベトナム語単語の効率的な覚え方、10 倍速暗記法」について、詳しく解説していきます。

第1章 今までの常識は、実は非常識

あなたももちろん、学校で英語を勉強したことがありますよね。英単語の暗記、苦労しませんでしたか。私は中学校に入学して、いきなり挫折しました(笑)。

先生や親に言われた通り、単語帳をつくったり、何十回も書いたりして、まじめに勉強したんですよ。

1日10単語とか20単語とか、数を決めて一生懸命覚えたわけです。でも、次の日になると、きれいさっぱり忘れていて・・・。「俺はなんてバカなんだ・・・」という挫折感を深くするばかりでした。

今だからわかりますが、これは典型的なダメダメ方法なんです。

何がダメな方法なんだ、語学学習の王道じゃないか！ あなたは怒りを感じるかもしれませんね。でも実際、そうなんです。

まず、1日10単語とかコツコツ覚えていくこと。考えても見てください。基礎中の基礎語彙、400語を覚えるとします。そうしたら、1日10単語覚えるペースだと、最後の400語にたどりつくころには、すでに1ヶ月半近くが経過してしまっているわけです。言うまでもありませんが、人間の頭は、コンピューターとは違い「忘れる」という反応があります。

40日も前に勉強した単語、完璧に覚えている自信ありますか？とてもじゃないですが、私にはありません。

それに、単語帳と言うのも、使い方を間違えると、あまり効果がありません。自分で書いたものを元に覚えると、**自己流に覚えやすいように勝手に解釈した発音で覚えてしまうのです。**

例えば私の中学時代の恥ずかしい話ですが……。

Together という単語ありますよね。「いっしょに」、という意味の。何度も書いて覚えているうちに、私はいつの間にか、この単語を「トゥゲットハー」と覚えていました(汗)。

こんな覚え方ばかりしていたら、語学が使えるようになる可能性なんて、万に一つもありませんよね。

今までの常識は、実は語学学習の非常識。効率的に、しかも確実に単語を覚える方法に変えてみませんか？

第2章 はじめに音ありき

言葉とは、つまるところ「規則を持った音」です。相手の言っていることが聞こえなければ、将来ベトナム人とベトナム語でコミュニケーションをするなんて、できっこありませんよね。特にベトナム語は、6つの声調と11の母音を持つ言語。音はものすごく重要です。

それに「音」には、聞いているだけで頭に入る、というありがたい特性があります。あなたも口ずさむことのできる歌の1つや2つ、ありますよね。その歌、何度も書いたり読んだりして覚えましたか？

単語学習は、まずは聞くことから始めてください。聞くのは楽だし、時間もかかりません。50語聞くのにかかる時間は、ほんの1分程度。これならちょっとした合間に、3度や4度は楽に聞けますよね。合間合間の時間を利用すれば、1日に20回ぐらいは、十分に聞けるはずです。そして何度も聞いているうちに、いつの間にかベトナム語の「音」が頭に残ります。何度も聞いて、ベトナム語の「**音像を頭に残しながら覚える**」。必ずここからはじめてください。

第3章 コツコツはダメ

第1章でも書きましたが、コツコツ覚えていくと、最初に覚えた言葉はほとんどが忘却の彼方へ飛んでいってしまいます(笑)。地道に足場を築きながら登ってきて、気がついたら足元の足場が全て崩れ落ちていた…。

これが現実です。

ここは発想を転換して下さい。1日の覚える言葉を5倍の50にします。

1日に50語も覚えられない？

その通りです。コンピューターではありませんから、1回で50語も覚えられないわけではありません。

じゃ、どうして？

「何度も繰り返す」ためです。忘却曲線というのがあるのですが、ご存知ですか。

記憶は20分後におよそ42%を忘れ、1時間後でおよそ56%、9時間後でおよそ64%を忘れ、その後少しゆるやかになり6日後にはおよそ76%を忘れてしまうそうです。

完璧に覚えたつもりでも、その後復習をしなければ6日後には24%しか残っていないのです。これが1ヵ月半後となれば…。ほぼゼロでしょうね。

しかし、学習し覚えたことを、忘れる前に繰り返し反復することで、忘れる確率は大幅に低くなることも証明されています。

そう、これから私たちが使う、単語の暗記モデルはこうです。

一日目：単語を50覚えた。二日目：覚えたと思ったのに、40個も忘れていた。三日目：あれだけ覚えていたのに、30個も忘れていた。四日目：もう忘れないと思ったのに、20個も忘れていた。五日目：また10個もできなかった。六日目：ついに覚えた！

第4章 体で覚える

ここまで「耳で覚えた」ら、初めて「音読」をして「口で覚えます」。

ベトナム語が話せるようになるには、聞けるだけではもちろん不十分。「できる」というのは、「頭ではわかる⇒考えながらできる⇒無意識でできる」という段階があります。

ベトナム語が話せるとは、もちろん「無意識でできる」こと。

そして、この「無意識でできる」ようにするためには、何度も体に覚えこませることが必要です。野球とかサッカーとか、スポーツでもそうですよね。野球なら素振りとかになりますが、語学学習では、「音読」。何度も声に出して読んで、体に覚えこませてください。

第5章 これewithとどめ、頭で覚える

第一章で私は、「書いて覚える」ことを否定しました。しかし、「耳で覚え」、それから「口で覚えた」あとの書き練習は、絶大な効果を発揮します。

記憶とは、いろいろな角度から覚えることで、より強固になるもの。ここまでで「聞ける」「話せる」ようになっている上に「書く」を積み重ねると…。

「ああ、この言葉は上がる声調だったか」とか、「ヒゲ付の U と普通の U はこう音がちがうんだ」とか、これまで「感覚」で覚えていた知識を、「知覚」でより確実に頭にインプットすることができるようになるのです。

第6章 まとめ

ここまで駆け足で説明してきましたが、もう一度まとめます。

1. 1日目～3日目

最初の 50 語を何度も聞き込み、耳に音像を残しながら覚える。

一日 50 語を目安に。頭に音像を残すことが目的なので、無理に覚えようと意識せず、とにかく数をこなす。1 日 20 回を目標に。

2. 3日目～5日目

ある程度音像が頭に残った段階で、音読練習をして体に覚えこませる。

3. 6日目・7日目

「意味がわか」って、「すらすら読める」ようになってはじめて、書き練習をして、完璧に覚える。

4. 8日目(第2週目)

次の 50 語を、上記の方法で覚える。1 日数回は、前の 50 語を「聞いて思い出す」。

(以下このサイクルの繰り返し)

この方法なら、あなたも間違いなく、これまでよりずっと楽に、しかも早く確実に、たくさんの単語を覚えられるはずです。

語学の学習は、まずスタートダッシュが肝心。この方法で、ベトナム語入門許可証 234 語を、一気に覚えてください。

ベトナム語入門許可証 234 語

<http://400tu.blogspot.com/>

こちらのページに順次音声もアップしていきますので、チェックしておいて下さいね。

<http://webduhoc.seesaa.net/article/66189842.html>

さあ、あとはやるだけ。必要なのは、情熱と 1 ヶ月だけの根気。才能とか年齢とかは、一切関係ありません。

あなたのベトナム語学習が一気に加速することを願ってやみません。頑
張ってください！

ベトナム語 WEB 留学

KEN(石川健太郎)

<http://webduhoc.seesaa.net/>